

## 西村亀氏文書(5)概要

1:文書群番号	079012-3
2:文書群名	西村亀氏文書(5)
3:出所	西村亀家
4:家業・役職等	近世は道意新田庄屋、近代以降は戸長、道意新田村部落惣代、村会議員、大庄村助役、町内会連合会長などを務める
5:地名	摂津国武庫郡道意新田／兵庫県武庫郡道意新田／武庫郡大庄村道意新田／大庄村道意／尼崎市道意／尼崎市道意町ほか
6:行政区分	尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
7:歴史	<p>西村家は近世に道意新田村庄屋、明治前期には道意新田部落総代を務めた。また道意新田が大庄村の大字となったのちは、大庄村の村会議員を務めた。</p> <p>道意新田については、承応2年(1653)西成郡海老江の医師中野道意の係累3名が東・西新田地先の太布脇開発を出願し、開発された。当初は太布脇新田と呼ばれたが、寛文9年(1669)の検地以降道意新田と改名した。もともと郷帳に村名が独立して記載されることはなかった。明治22年(1889)以降は大庄村の大字、昭和17年(1942)以降は尼崎市の大字道意となった。</p>
8:伝来	<p>昭和51年10月、西村亀氏より史料館が借用。平成21年11月に整理・目録作成を完了し、亀氏子息の豊氏より同22年2月に寄託を受けた。</p>
9:史料入手先	西村豊氏
10:点数	2点(目録件数2件)
11:年代	文久2年(1862)・明治13年(1880)
12:構造と内容	<p>本文書群は、西村亀氏文書(1)(2)(3)(4)と本来一体である。内容は、明治13年(1880)の官地海面拝借願い、文久2年(1862)～慶応2年(1866)の宗旨人別出入り控え帳の2点からなる。</p> <p>いずれも中浜新田に関する史料である。</p>
13:関連史料	西村亀氏文書(1)(2)(3)、同(4)など
14:閲覧条件	原本
15:作成者	河野未央